

企画県土警察常任委員会資料

(平成25年1月21日)

- 1 山陰近畿自動車道(鳥取豊岡宮津自動車道)整備推進総決起大会の開催について
【道路企画課】……1ページ
- 2 一般県道河原インター線の供用開始について
【道路建設課】……3ページ
- 3 平成24年度湖山池会議(第4回)の概要について
【河川課】……4ページ
- 4 境漁港の漁港整備について
【空港港湾課】……5ページ
- 5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・道路企画課・道路建設課・治山砂防課】……8ページ

県土整備部

山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）整備推進総決起大会の開催について

平成 25 年 1 月 21 日
道 路 企 画 課

平成 24 年 5 月に設立した山陰近畿自動車道整備推進協議会（三府県鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会から名称変更）による整備推進総決起大会を下記のとおり開催します。

1 通称名の設定について

通 称 名：山陰近畿自動車道

設定理由：地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」が、日本海側唯一の高速道路空白地帯において、山陰地方と近畿地方を結ぶ基幹道路であることをより明確かつ率直に各方面に示し、一層の整備推進を訴えるため。

2 大会内容

- (1) 名 称 「山陰近畿自動車道」サミット in Tokyo
- (2) 開催月日 平成 25 年 1 月 25 日（金）
- (3) 会 場 憲政記念館（東京都千代田区永田町 1-1-1）
- (4) 参加予定者 国土交通省：政務三役（大臣、副大臣、政務官）、地方整備局
三府県関係：国会議員、府県議会議員
関係市町：市町長、市町議会議員
関係団体：経済団体、観光団体
主催者側：三府県知事

(5) 内 容

総決起大会（1 時間程度）

- ・三府県知事意見発表
- ・三府県関係国会議員挨拶
- ・国土交通省意見発表
- ・声明発表

※コーディネーターは、京都大学大学院教授藤井聡氏

※総決起大会終了後には、与党本部、国土交通省政務三役及び府県選出国会議員への要望活動を行う予定。

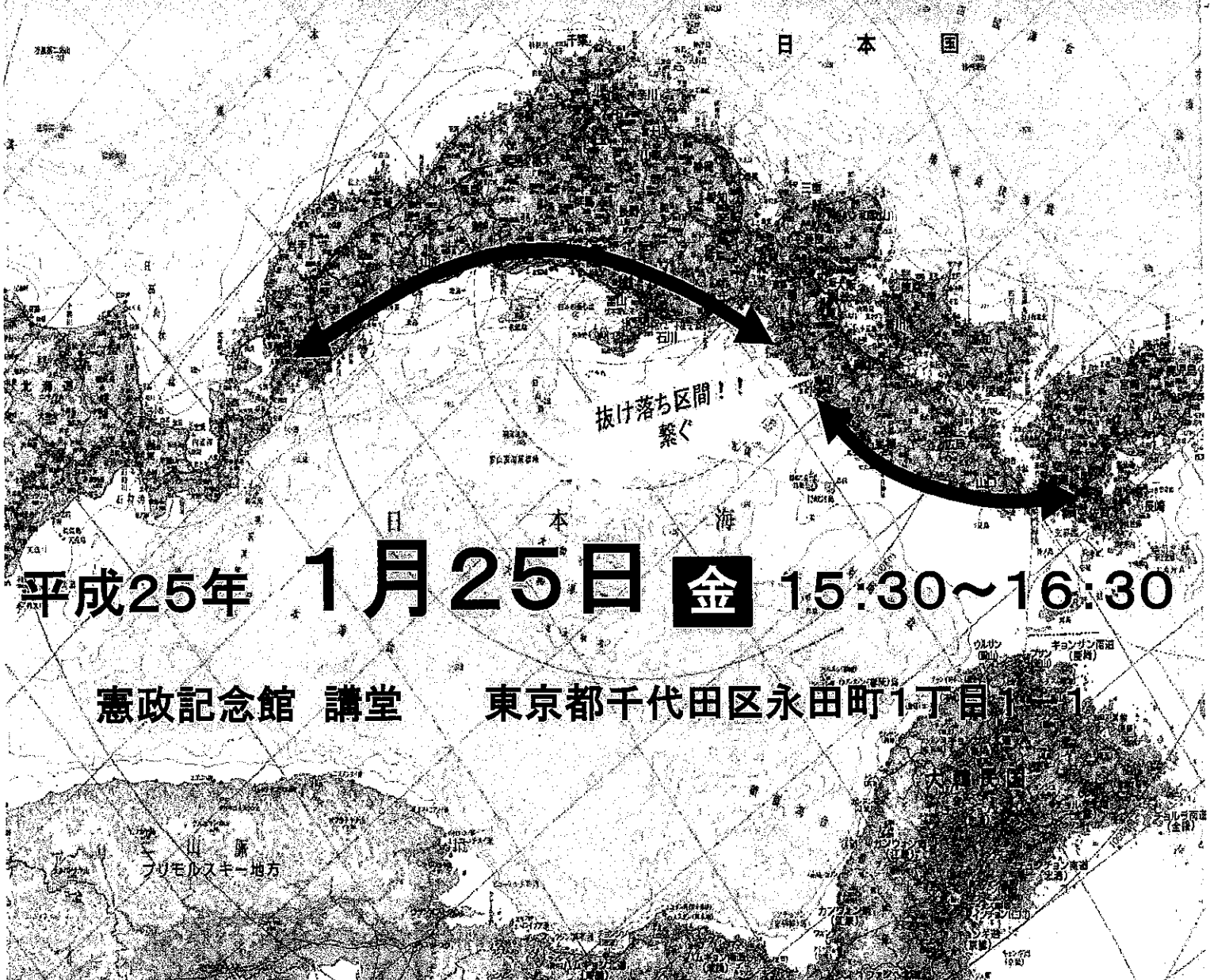
【参考】山陰近畿自動車道整備推進協議会について

- 目 的 山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の整備を推進し、早期にネットワークの形成を実現するために必要な調整、連絡及び要望活動を行う。
- 会 員 鳥取県、兵庫県及び京都府の知事
- 会 長 山田京都府知事（任期 2 年）
- 設 立 平成 24 年 5 月 30 日
- 活動状況 平成 24 年 6 月 5 日、山田会長を中心に推進協議会による国要望を実施
〔要望先〕国土交通省（副大臣）、各府県関係国会議員 他
〔要望内容〕鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備について
 - ・一般道路とは別枠の重点的な予算の確保
 - ・整備区間における平成 25 年度の必要予算の確保
 - ・調査区間の早期事業化と、未指定区間のルート検討のための調査実施

『脆弱国土の強靱化』 山陰近畿自動車道

(鳥取豊岡宮津自動車道)

サミット in 東京



平成25年 1月25日 金 15:30~16:30

憲政記念館 講堂 東京都千代田区永田町1丁目1-1



山田 啓二
(京都府知事)



井戸 敏三
(兵庫県知事)

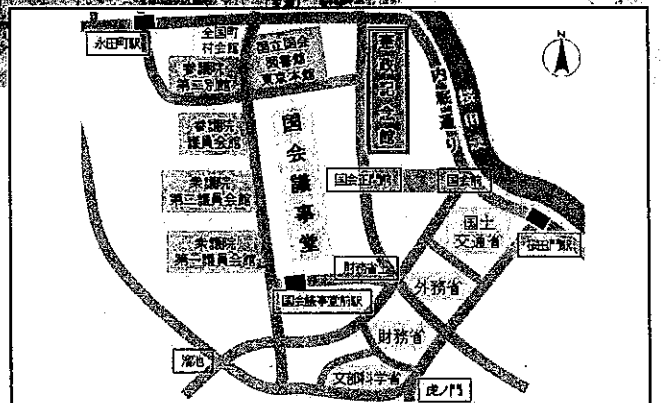


平井 伸治
(鳥取県知事)



藤井 聡
(京都大学
大学院教授)

コーディネーター



主催：山陰近畿自動車道整備推進協議会 [会長：京都府知事]
(構成府県：京都府、兵庫県、鳥取県)

一般県道^{かわはら}河原インター線の供用開始について

平成25年1月21日
道路建設課

一般県道河原インター線は、国道53号及び鳥取自動車道河原ICと国道29号を結ぶ幹線道路であり、このうちⅡ期区間(船久橋^{せんきゅうはし}～西御門^{にしみかど})を3月10日に供用開始します。

これにより、全線が開通することとなり、八頭町、若桜町と鳥取自動車道のアクセスが向上し、地域内外との交流・連携の強化が図られ、東部圏域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

1 供用開始日時 3月10日(日)午後2時(予定)

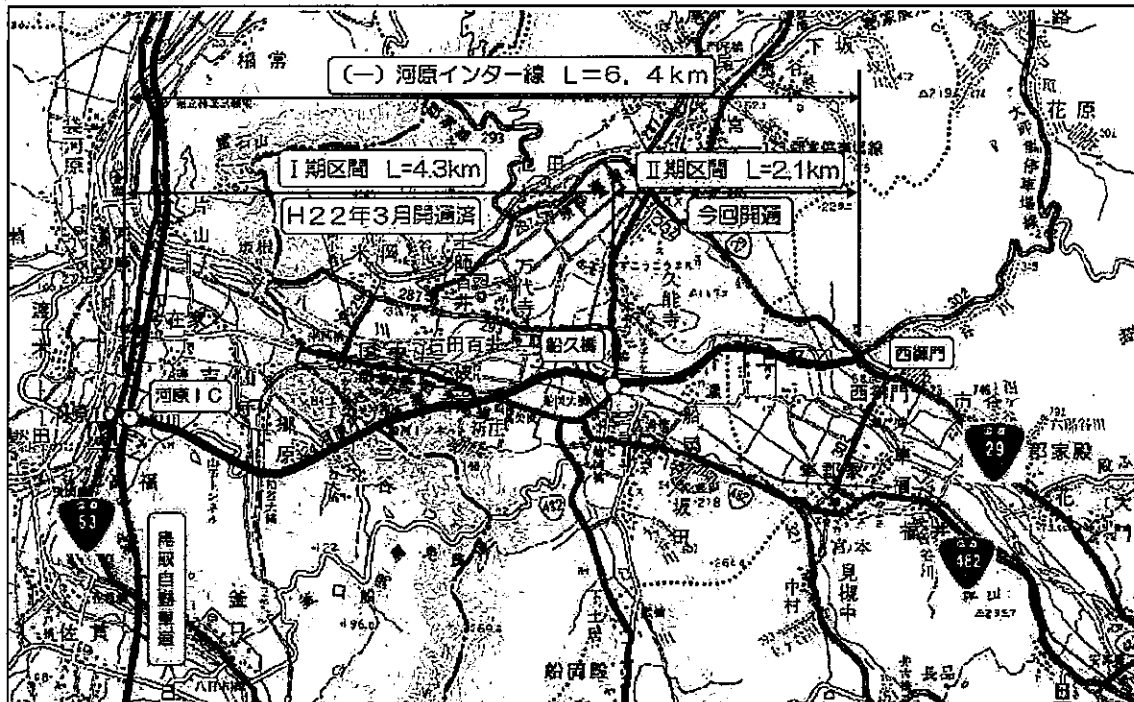
2 事業概要

- (1) 延長 今回開通延長2.1km(船久橋～西御門)
全体6.4km(国道53号～国道29号)
- (2) 幅員 9.0m(車道幅員3.25m×2車線)
- (3) 事業期間 平成13年度～平成24年度

3 開通式

- (1) 日時 3月10日(日)午前10時30分から
- (2) 場所 八頭郡八頭町西御門
- (3) 主催 河原インター線全線開通記念式典実行委員会(会長:八頭町長)

【位置図】



平成 24 年度湖山池会議（第 4 回）の概要について

平成 25 年 1 月 21 日

水・大気環境課／河川課

- 周辺自治会代表者、漁業協同組合の組合長、環境モニタリング委員会の委員長に、湖山池の汽水湖化の取組等に関して意見・要望等を伺った。
- 各種意見等を参考にし、次期水質管理計画の策定や今後の汽水湖化の取組方針を検討していくことを確認した。

1 開催日時等

日 時：平成 24 年 12 月 25 日（火）午前 10 時から正午

場 所：鳥取市本庁舎 4 階 第 2 会議室

出席者：（鳥取県）関係部長 （鳥取市）副市長 ほか関係部長
周辺自治会代表者（松保、末恒、湖山、湖南、賀露、湖山西自治会）
湖山池漁業協同組合長、湖山池環境モニタリング委員会長

2 議事概要

(1) 湖山池の水環境の現状について

水門開放後の湖山池の変化についての概要を湖山池会議事務局（水・大気環境課長）から説明
（説明内容：塩分濃度の推移、水質の変化、水生植物群、プランクトン、魚介類の変化など）

(2) 周辺住民、漁協、環境モニタリング委員会の方々の主な意見・要望について

ア 周辺自治会の代表者（周辺 6 地区自治会）

- ・今夏はヒシ・アオコが皆無の状況であり、生活環境の改善など汽水湖化の取組を十分評価している。
- ・湖内のヘドロについて何らかの対策が必要と感じる。
- ・生態系の変化を重要視するあまり「ヒシ・アオコの悪臭等、多少はガマンすべきである」と発言する方もいたが、我々住民としては決して納得できるものではない。
- ・汽水湖化により動植物の変化があるのは当然だが、多種・多様な生物が生息するような環境が望ましい。
- ・汽水湖化の取組を維持するのは適当と考えるが、3～5 年経過しないと環境は安定しない。
- ・汽水湖化は今後も継続し、減少してしまった生物の保全に関しても対応してほしい。

イ 湖山池漁業協同組合（邨上組合長）

- ・水門を閉鎖してしまうと池は「ため池状態」になり、ヘドロが溜まるなど、どれほど悪影響を及ぼすのかを考えて欲しい。
- ・池は自然体（水門無し・全開）の状態が望ましく、塩分濃度にこだわる必要はない。高塩分でも大きな支障は無いはずで、シジミや魚等の生物が生息できる池にしてほしい。
- ・ヘドロ対策の覆砂は、深い水域では効果が持続しないので、浅い水域から行うべきである。

ウ 環境モニタリング委員会（鳥取大学日置教授）

- ・汽水湖化の効果として、ヒシ・アオコが減少し、生活環境の改善には一定の評価ができる。また、自然環境は、汽水性の生物群が多くなった一方で、淡水性の生物群は減少してしまった。
- ・そもそも昭和 58 年に千代川の河口を付け替えたことにより海水流入の微妙なバランスを失い、塩害発生に伴う水門閉鎖という対処のために、湖水流動の鈍化、富栄養化、漁業不振等の問題が進行したものと思われる。
- ・また、賀露港の海水を直接導入する今回の汽水湖化の方法は、塩分の微調整が効かず、その結果「塩分抑制」と「溶存酸素確保」が矛盾することになり、その対応策の一つとして以前の千代川に連結する状態に戻すような思い切った措置も検討すべきと考える。

(3) 今後の方針等について

各種意見や要望等も参考に、現在策定中の次期水質管理計画を含めて、次回開催予定の湖山池会議で今後の取組方針を検討する予定である。

境漁港の漁港整備について

平成25年1月21日
水産課
境港水産事務所
空港港湾課

平成24年11月29日(木)に「第3回さかいみなと漁港・市場活性化協議会(会長:大谷和三 境港水産振興協会会長)」を開催し、境漁港の今後の漁港整備等について協議を行った。

1 これまでの経緯

- H23年12月 さかいみなと漁港・市場活性化協議会を設置
 - ・これからの「境漁港・市場のあり方」について、幅広く地元や水産関係者等の意見を集約
- H24年6月 本協議会に「漁港」、「市場」、「食と観光」のワーキンググループを設置
 - ・ワーキンググループで課題、対応方針案等を検討

2 協議会の概要(漁港整備等に係るもの)

(1) 主な課題

- ア 係留岸壁の充実
 - 休けい岸壁の利用調整、港湾区域の岸壁の活用、境漁港特定漁港漁場整備計画(以下、「特定計画」という)の未整備箇所(小型漁船係留施設、潮通し工)の取扱い、岸壁の耐震化対策等
- イ 漁港利用者・船舶の利便性向上
 - トイレ・休憩所の設置、給水施設等付属施設の充実等

(2) 協議結果

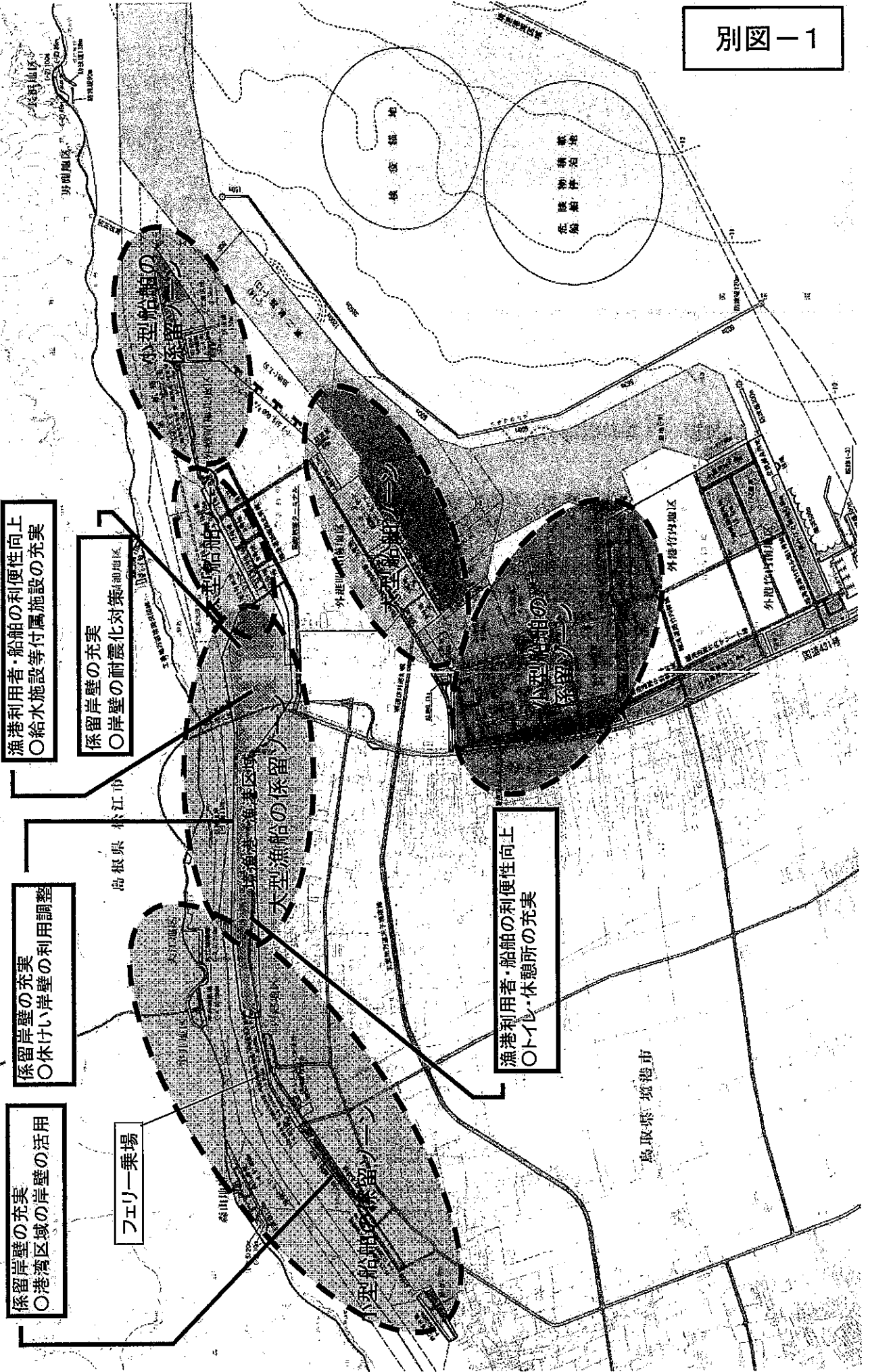
- ア 既存岸壁の利用調整、港湾区域の岸壁の活用(別図-1)
 - 既存の休けい岸壁の利用調整は早急な対応が必要な課題であり、今後利用調整協議会(仮称)を立ちあげ、効率的な係船のルールづくりや利用調整について検討していく。
 - 港湾区域の岸壁の活用は有効な対策であり、今後、関係者と調整し具体的な検討していく。
- イ 特定計画で未整備となっている施設の取扱い(別図-2)
 - 小型漁船係留施設については、小型漁船の利用が減少していること、及び計画位置には境港市内で唯一となった造船所があることなどから中止で合意。今後は、既存岸壁の利用調整及び港湾区域の岸壁の活用により係船岸壁の充実を検討していく。
 - 潮通し工は、荷捌所内に代替の排水施設があるため、中止で合意。
- ウ 岸壁の耐震化対策
 - 地震等の災害時における耐震対策、避難対策及び事業継続計画等について、引き続き検討していく。
- エ 漁港利用者・船舶の利便性向上
 - トイレ・休憩所の設置、給水施設等付属施設の充実等の漁港の利便性の向上につながるものの実現可能性について、引き続き検討していく。

以上の項目について、「境港水産振興ビジョン(仮称)」に取りまとめる。

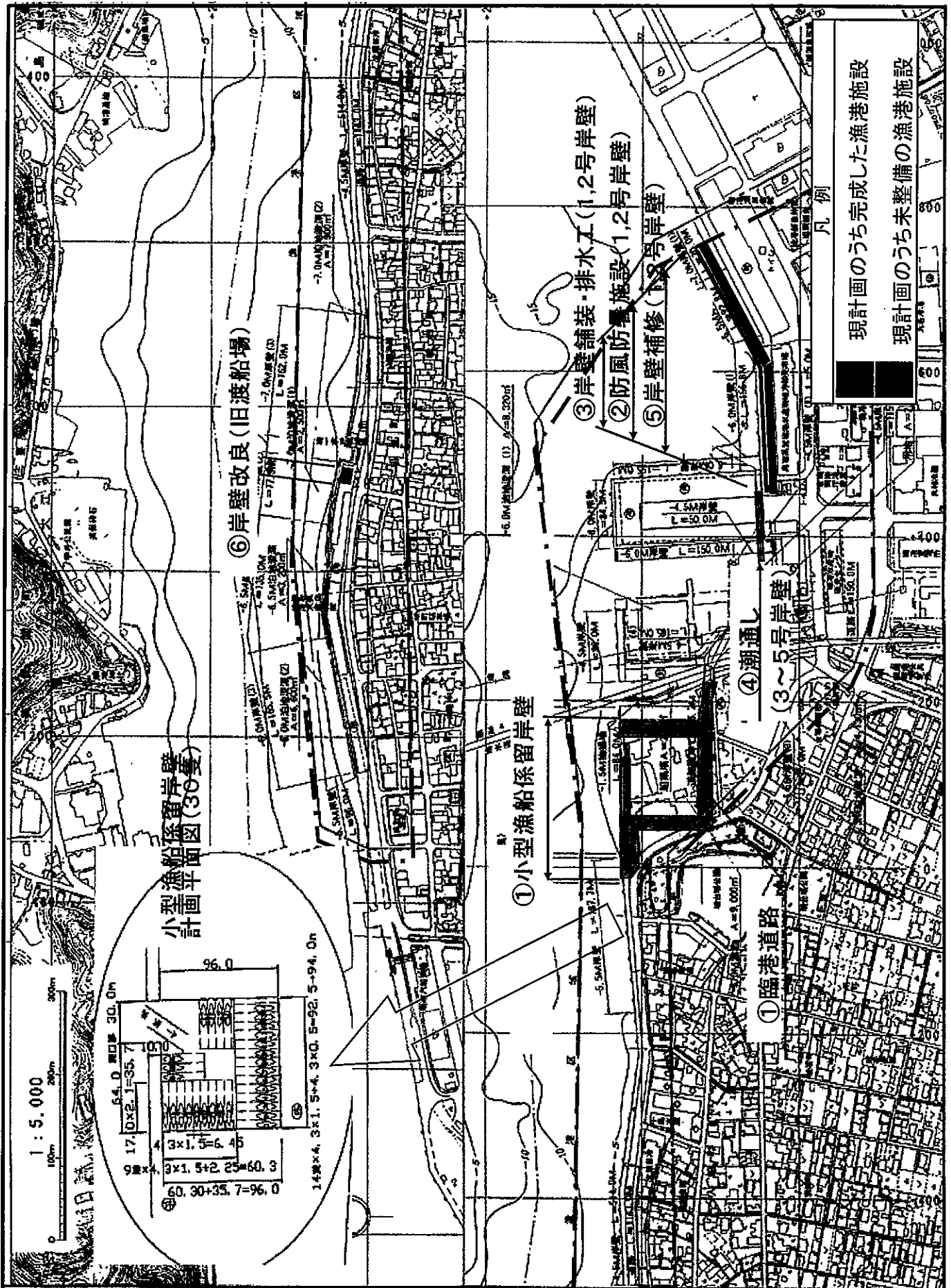
3 今後の予定

- H25年1月末 特定計画で未整備となっている施設は中止することを水産庁に回答
- H25年3月 「境港水産振興ビジョン(仮称)」の策定

既存岸壁の利用調整、港湾区域の岸壁の活用(イメージ図)



境漁港特定漁港漁場整備計画の整備状況



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
技術企画課 (西部総合事務所 県土整備局)	阿波陀川砂防災害復旧工事(23年災227号)(本堤工)	西伯郡 大山町 坊領	(株)大協組 代表取締役 小山 典久	179,025,000円 (予定価格) 197,250,900円	平成24年12月28日 ~ 平成25年7月31日	平成24年12月27日	制限付 一般競争入札 (17社)

【変更分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
技術企画課 (西部総合事務所 県土整備局)	佐陀川砂防災害復旧工事(23年災243号)	西伯郡 伯耆町 丸山	(株)大協組 代表取締役 小山 典久	(当初契約額) 184,275,000円 (第1回変更後契約額) 209,628,300円 (変更額) [25,353,300円]	平成24年3月27日 ~ 平成24年12月7日 (変更後工期) 平成25年3月25日	(当初契約年月日) 平成24年3月26日 (第1回変更契約年月日) 平成24年12月3日	
道路企画課 (西部総合事務所 県土整備局)	国道180号(白山橋)耐震補強工事(下部工)(社会交付金)	西伯郡 南部町 下中谷	国道180号(白山橋)耐震補強工事(下部工)(社会交付金)ピーエス三菱・馬野建設特定建設工事共同企業体 代表者 (株)ピーエス三菱鳥取営業所 所長 小倉 徳男	(当初契約額) 129,150,000円 (第1回変更後契約額) 132,307,350円 (変更額) [3,157,350円]	平成24年4月2日 ~ 平成25年1月19日	(当初契約年月日) 平成24年3月30日 (第1回変更契約年月日) 平成24年12月20日	
道路建設課 (日野総合事務所 県土整備局)	県道日野溝口線下黒坂工区(Ⅱ期)改良工事(7工区)(交付金改良)	日野郡 日野町 下黒坂	(有)澤田建設 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 137,025,000円 (第1回変更後契約額) 146,320,650円 (変更額) [9,295,650円]	平成24年7月31日 ~ 平成25年1月31日	(当初契約年月日) 平成24年7月31日 (第1回変更契約年月日) 平成24年12月7日	
治山砂防課 (西部総合事務所 県土整備局)	佐陀川砂防単独災害復旧工事(満砂除石)(2工区)	西伯郡 伯耆町 丸山	美保テクス(株) 取締役社長 野津 一成	(当初契約額) 181,650,000円 (第1回変更後契約額) 189,467,250円 (変更額) [7,817,250円]	平成24年8月2日 ~ 平成25年1月31日	(当初契約年月日) 平成24年8月1日 (第1回変更契約年月日) 平成24年12月21日	